

地域再生計画「豊かな環境に出会えるまち くまがや」

事後評価

1 地域再生計画の概要

本市は、清流に生息する魚「ムサシトミヨ」が国内で唯一確認されているなど、豊かな自然環境に恵まれているが、近年、住民の生活様式の変化等により、生活雑排水が増加し、それらが流れ込む市内の河川の水質汚濁が問題化している。

このため、汚水処理施設整備を一層促進すると共に、公民館等が行う環境講座への積極的な講師派遣や、子供たちを通して家庭において環境問題への関心を高めるために小学校において環境教育支援プログラムを導入する等、様々な取り組みを行い、人と自然の共生するまち、くまがやをつくっていく。

2 活用した支援措置

地域再生基盤強化交付金「汚水処理施設整備交付金」

3 事業内容、実績及び評価など

(1) 事業内容	公共下水道整備事業	浄化槽設置事業 (個人設置型)
(2) 事業期間	H19～H21	H17～H21
(3) 事業区域	熊谷市円光一丁目、 大原一丁目地区	公共下水道、農業集落排水事業の区域を除く市全域
(4) 事業実績(整備量など)	整備面積 9.4ha 汚水処理人口 518人 汚水管整備延長 1,352m	設置数 1,325基 汚水処理人口 3,514人
(5) 事業費	60,400千円 内、交付金額 30,200千円	295,923千円 内、交付金額 98,639千円
	356,323千円 内、交付金額 128,839千円	
(6) 指標について(目標、実績及び達成率)	汚水処理施設の整備の促進 汚水処理人口普及率 【目標】54.3% 【実績】54.2% 【目標達成率】99.8%	環境に係る啓発事業推進 浄化槽管理者講習会の受講率 【目標】50.0% 【実績】43.1% 【目標達成率】86.2%
	【目標達成率】93%	
(7) 評価	事業費の年度間の融通などを活用しながら、地域再生基盤強化交付金「汚水処理施設整備交付金」を利用し、事業を効率的に進めることができたため、ほぼ目標を達成することができた。	